

<b>取組と目標に対する自己評価シート</b>
<b>タイトル:介護保険事業の適正・円滑な運営とサービスの質の向上</b> <b>目標を設定するに至った現状と課題</b> 長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、介護保険事業の適正・円滑な運営とサービスの質の向上に向けて、介護給付費の適正化が重要となる。 当町では、年々人口減少が進んでいるが、高齢者率は増加している。そんな中、認定率と一人当たりの介護費用額は減少傾向にあるので、これを継続し、安定した介護保険財政を運営していくことと、高齢者率が増加する中、不要な介護サービスが提供されていないかの検証が課題である。
<b>第7期における具体的な取組【P】</b> <b>★給付適正化の推進</b> ①地域ケア会議の開催 ②ケアプラン点検 ③住宅改修点検
<b>目標(事業内容、指標等)【D】</b> ①地域ケア会議の実施 年間12回 ②ケアプラン点検 居宅事業所2カ所(すべての介護支援専門員) ③住宅改修の全点検
<b>目標の評価方法</b> <input checked="" type="checkbox"/> ●時点 <input type="checkbox"/> □中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> ☑実績評価のみ  <input checked="" type="checkbox"/> ●評価方法 目標の年間実施件数
<b>前期(中間見直し)【C】</b>
<b>実施内容</b>  
<b>自己評価結果【 】</b> ○、△、×
<b>自己評価から考察した課題と対応策【A】</b>  
<b>後期(実績評価)【C】</b>
<b>実施内容</b> 地域ケア会議 30件、ケアプラン点検 4件(居宅ケアマネ全員実施)、住宅改修点検 16件(全件実施)
<b>自己評価結果【○】</b> ○、△、× 目標件数を達成できた。
<b>自己評価から考察した課題と対応策【A】</b> ・ケア会議を通して、居宅ケアマネと関係機関の顔の見える体制を構築できた。 ⇒今後も継続して実施する。  ・住宅改修は、全件において専門職の意見を聞くことができ、給付の適正化につながった。 ⇒今後も継続して実施する。